

渡波で「みちのく大田楽」

豪華な野外劇を披露

女優の松坂慶子さんも来場

都、伊東(静岡県) 高被災地の復興と被災者を元気づけようと、「みちのく大田楽」(NPO法人フエアト)が16日、石巻市大宮町の明神社参道石畳を舞台に豪華けんらんな「野外劇」を行った。

総合芸術家の野村万之丞氏が中世芸術を再現した「大田楽」は、富山、山代(石川県)京都、伊東(静岡県)高崎(群馬県)、新潟



東京、足利の8カ所を拠点に活動しており、今回は、その中から伊東、東京、山代、高崎、新潟の大田楽を学んでいる市民躍り人「わざおぎ」50人が参加した。



中世芸能独特の花で飾った大きな笠をかぶり、派手な衣裳に腰鼓や編木(びんざさら)の楽器をつけた「わざおぎ」たちが、豪華な踊りや曲技の躍りを披露したほか、インドネシアの獅子「バロン」(重さ約60キ)

が特別出演するなど、珍しいダイナミックな踊りに参道の観衆から歓声と大きな拍手があった。

また、女優の松坂慶子さんも会場に姿を見せ、「みなさんも元気でがんばって下さい」とあいさつ、観衆と握手を交わして祭りに華を添えた。

この後、NPO法人フエスタアトリード東北が、「肉そば」「カレーライス」500食の無料炊き出しと、「カツブラーメン」や「天然水」「ジャガイモ」などの無料配布を行い長い行列が続いた。